

## 第8回長野市総合計画審議会作業部会 教育部会 会議録（概要）

日 時：平成18年4月11日（火）

午後1時30分から

場 所：第一庁舎8階 第一委員会室

### （1）第4回長野市総合計画審議会の報告について

#### （2）基本計画について

- 副部会長 ・担当部局の表記をすることで部局間で似たような事業がある場合、明記しにくくなる可能性があるのではないか。
- ・教育に関して言うと、評価に時間がかかるものもあるかと思うが、評価の仕方の工夫について実際に施策を展開していく中で議論されるのか。
- 事務局 ・担当部局の表記については、専門部会で議論して決めていく。
- ・指標に関しても、作業部会及び専門部会双方から意見をいただき、議論しながら決めていく。
- 専門部会長 ・担当部局の表記については、専門部会でも議論になったところであるが、作業部会の皆さんに確認しながら、庁内でも細かく練りたいと思う。

#### （3）基本計画策定に向けた意見交換

##### < 2 豊かに学びあう社会の形成 >

- 部会員 ・生涯学習で学んだことを発表できる場について追加してほしい。
- ・2-2-(1) 主な取組の「高齢者・団塊の世代の活躍の場の創出」は、1-4-(3) 主な取組にある「学校教育支援ボランティア」など、学校教育とも関係してくるかと思う。高齢者や団塊の世代を学校教育でもうまく生かしていけたらよい。
- 部会員 ・大・中項目は、長野市らしい構想として各個人が自分なりに個々の生涯学習構想をイメージできる表現かと思うが、小項目以下はハードっぽく感じているように感じる。小項目は、もう少しイメージできる表現にしていけないといけないのではないかと思う。中項目の内容をもっと豊かにしていけないのでは。
- 副部会長 ・中項目に色々と書きすぎると、縛りがかかって出来ないことも出てくるかと思うので、ここはある程度抽象的な表現にして、具体的なものは小項目や主な取組で表現することとして、ここに足りない部分があれば補っていただければと思う。
- 事務局 ・本日は、小項目と主な取組について不足している要素を出していただきたい。今いただいた意見は、体系を強く意識されているものであり、今後の議論になってくる内容かと思う。本日お示した体系は、まだ精査されておらず、

分かりにくいものかと思うので事務局で練り直して次回の作業部会に提示していきたい。

- 部会員  
事務局
- ・基本計画の様式は、我々は関知しないということか。
  - ・次回の作業部会では、この様式に当てはめて事務局で作成したものを基本計画骨子たたき台としてお示しし、議論いただく予定である。
- 部会員  
事務局
- ・確認だが、今回は、それを作成するに当たり、自分たちの夢であったりするものを言えばよいのか。
  - ・そのとおりである。
  - ・基本計画フレームイメージは、今までの議論をそのまま落としたものなので分かりにくい部分もあるかと思う。中項目と小項目の位置が逆ではないか、あるいは展開がみえないといったこともあるかと思う。また、足りない要素もあると思うので、何でも構わないので意見をたくさんいただきたい。
- 部会員
- ・「次世代を担う人材の育成と環境の整備」の2は小項目を2つに分ける必要はないのではないか。ここを分けてしまうと主な取組も細かくなりすぎる。
- 部会員
- ・中項目を具現化していくものが小項目には必要。大項目から主な取組までは筋道がないといけない。
- 部会員  
事務局
- ・小項目は文章になるのか。
  - ・現在、小項目の欄に入っている内容は、基本計画の施策のタイトルにつながっていく。
- 部会員  
事務局
- ・今出ている意見は、施策の目標の中で表現していけるのか。
  - ・実際にこの様式に当てはめて作成しないとわかりにくい箇所もあるかと思う。
- 部会員  
事務局
- ・確かに、この様式に沿って書いてみないと分からないかもしれない。
  - ・様式に沿って作成したものを基に議論いただくということも考えたが、一度今までの議論を体系のイメージとして捉えていただき、もう一度足りない要素を意見としていただくこととした。
- 部会員  
部会員
- ・全体を通してカタカナ言葉が多い。できるだけ日本語を使ったほうがよい。
  - ・子どもたちが生涯にわたって学んでいこうという意欲づくりに関する表現がほしい。学校開放の仕組みをうまく利用して、小学校区ごとにその拠点となるものがあるといい。例えば郡部の場合、図書館も遠方にあるため、学校の図書館を利用できるようにするとか。
- 部会員
- ・小項目の「(1) 学習支援体制の充実」というのは具体的にはどのようなものが入ってくるのか。ここにもう少しイメージできるものを置いてみるとどうだろうか。主な取組の欄がその内容になるのか。
- 専門部会員
- ・主な取組の欄に細かい内容があって、それをまとめたものが小項目である。小項目のくくり方については、次回に向けて見直す必要もあるかと思う。
- 部会員
- ・居住地の近くで講座を受講できるように、施設の充実だけでなく、出前講座の実施など、(内容面での) 拡充もしてほしい。

### < 3 ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承 >

- 部会員 ・アーティストレジデンスとはどういう意味か。
- 事務局 ・ワークショップで出た意見であるが、芸術家が長野市に短期滞在して創作活動を行うということである。
- 部会員 ・子どもみこしや祭りなど、地域にあるたわいもないような文化の伝承というのはどこかに含まれるだろうか。
- 事務局 ・中項目2の(1)に含まれているかと思う。
- 副部長 ・保存会などで活動しているものもあるかと思う。
- 部会員 ・最近、つながりとしての文化の要素が欠けているように思う。1点目は個の部分を高めていくということでもよいかと思うが、中項目の2点目には必要なことかと思う。
- 副部長 ・「つながり」に関しては、学校教育、生涯学習に関しても重要な要素。
- 副部長 ・地域のつながりはもちろんのこと、世代間のつながりも大切。

### < 4 躍動する生涯スポーツの振興と競技力の向上 >

- 副部長 ・中項目1-(3)主な取組の中の「地域に根付いたクラブチームの育成」は、すでに活動しているクラブチームもあるかと思うが特に問題にはならないか。
- 事務局 ・既存のクラブチームも含めた育成と考えているので問題はないかと思う。
- 専門部会員 ・中項目2-(1)主な取組に「各種スポーツ団体の育成、強化、連携」とあるので、クラブチームに関する記載にも強化と入れてもよいかと思う。
- 副部長 ・市外や県外で活躍していた人が長野市に帰ってきて指導したい場合などは、「指導者の育成と活用のための組織体制の充実」に含まれると考えてよいか。
- 事務局 ・そのように考えていただいてよい。
- 部会員 ・中項目1の(3)「スポーツを通じたまちづくりの推進」は大事なことだと思うが、この要素には、だれもが参加できるスポーツ会のような内容が感じられない。
- 副部長 ・3の文化の小項目にも、中項目1の(3)のような表現がほしい。
- 専門部会員 ・主な取組に「総合型地域スポーツクラブの創設・育成」とあるが、地域の方の年齢やレベルに応じてどんな方にも取り組んでいただくという内容のものなので、要素としては入っている。
- 部会員 ・中項目2の(3)に、中学生の全国スケート大会を継続的に誘致するなどの取組は入れられないか。
- 専門部会員 ・国でスポーツ拠点づくり事業として実施しているものであるが、長野市でも、平成19年度から全国中学校のスピードスケートとフィギュアスケートの大会を向こう10年間継続して開催することで計画している。
- 副部長 ・スキー関係の大会についてはどのような状況か。
- 専門部会員 ・スキーについては、野沢温泉で取り組んでいるが、金銭的な面が課題となっているようだ。競技によっては持ち回りで開催することが望ましいものもある。

る。

- 部会員 ・各学校でスキー教室を実施しているが、スノーボードを教える人もほしい。
- 副部長 ・スノーボードは少人数単位で教えないといけないので、指導者の人数を考えると難しい。現在、小学校では、フィギュアスケート、スキーと優先順位を付けて取り組んでいる状況。中学校では、選択性の授業の中で、地域性を生かしてスノーボードを取り入れていくというやり方になるかと思う。
- 専門部会員 ・教育委員会としては、まだ直接スノーボード指導の要望については聞いていない状況。
- 部会員 ・中項目1 - (2) 障害者スポーツの振興に大会の誘致を加えたらどうか。

#### (4) 市民フォーラム 21 各作業部会間の調整事項について

- 専門部会員 ・国際交流はなぜ都市整備部会で議論しているのか。
- ・具体的にはどのような取組があるのか。
- 事務局 ・第三次総合計画の体系を基に作業部会を編成しているので、都市整備部会で議論を進めてきた。
- ・審議会資料集の34ページに、基本構想としての記載がある。第三次総合計画後期基本計画では、120ページに記載があるが、国際感覚の向上、多様な国際交流の推進、国際化への環境整備などがあがっている。第四次総合計画策定に向けて都市整備部会で議論いただいている具体的内容については、次回の作業部会でお示ししたいと思っている。
- 部会員 ・教育部会にあった方が自然ではないかと常々思っている。
- 部会員 ・教育分野では避けて通れない内容である。移行するしないということではなく、どちらにもあった方がよいのではないか。
- 副部長 ・部会を超えた意見に関しては、審議会で決めることとはなっている。
- ・教育に特化して話が進んでいった場合、抜け落ちる要素も出てくる可能性があると思う。
- 専門部会員 ・学校教育においても、国際交流や国際文化と非常に関わりがあるが、総合計画に掲載する場合、子どもに限らず、大人もまたそれを取り巻く環境も含まれる。どのように扱うのがよいかということかと思う。
- 専門部会長 ・表の左側の欄にある、「各分野への細分化」というのはどういう意味合いか。
- 事務局 ・国際化・国際交流については各分野に関係してくる内容であるので、それぞれの分野に入れ込んでいくというのが、都市整備部会の当初の意見であった。その後の議論で、国際交流については教育部会に移行するほうが良いのではないかという意見に変化した。
- 専門部会長 ・一括して移すということか。
- 事務局 ・そうである。再掲として関係ある箇所への掲載はあるとしても、主となる担当として教育に移行したほうが良いのではないかという意見である。ただし、どの視点から捉えるかにより、変わってくると思う。先ほども意見があった

ように、教育という視点から捉えることで欠けるものがでてくるようでも困るかと思う。

専門部会員 ・ 移行する場合、国際交流にまつわるものを全て教育部会で扱うということを教育部会として認識していれば構わない。

副部会長 ・ 移行する場合、国際交流に詳しい委員さんに来ていただくことは可能か。

事務局 ・ 8月の審議会で決定するまでは、現在受け持っている部会で議論することとなっているので、まとまったところで移行となる。ただし、その後、基本構想の内容など見直しが必要になる部分も出てくるかと思う。

その他

< 日程の説明 >

部会員 ・ 基本計画たたき台というのはどのようなものが出てくるのか。

事務局 ・ 基本計画の様式に沿って作成したものを提示する。

部会員 ・ できるだけ早めに送付してもらいたい。

事務局 ・ 連休前に送付したいと考えている。

以上